

木材需給動向について (全国)

令和 7 年 9 月
(令和 7 年 7 月時点)

林 野 庁

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」

木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計データや、林野庁の施策に関するトピックス、セミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>

(QRコードからもアクセスできます。)



目次

- 1 木材需給動向の概要
- 2 価格の動向
 - (1) 原木価格（原木市場・共販所）
 - ア スギ（全国）
 - イ ヒノキ（全国）
 - (2) 製品価格
- 3 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向
 - (1) 製材（全国）
 - (2) 合板（全国）
 - (3) チップ（全国）
- 4 住宅着工戸数の動向
- 5 木材輸出量

1 木材需給動向の概要

【原木価格】

- スギは東北、近畿中国、四国で前年より高値傾向。
- ヒノキは全国的に前年より高値の傾向、特に近畿中国で顕著。

【製品価格】

- 国産材の柱は昨年末から上昇した後、横ばい。
- 間柱は国産、輸入ともに上昇傾向。
- 国産材の構造用合板は、今年1月を底値に春まで上昇、その後横ばい。

【製品生産】

- 製材は概ね前年を上回る生産状況。
- 合板は前年を上回る生産状況だが、春以降、原木在庫が増加傾向。

【住宅着工戸数】

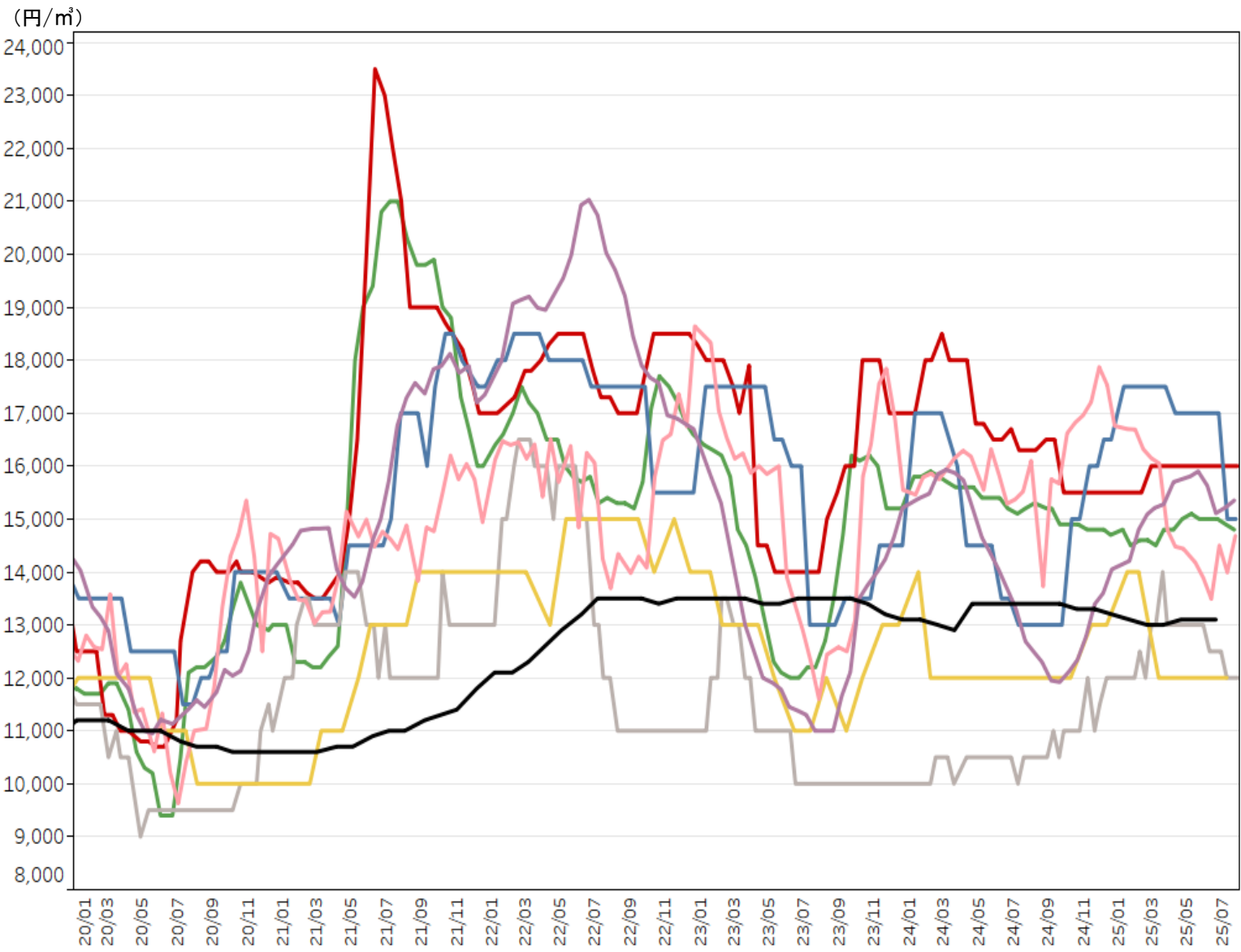
- 3月に前年を大きく上回った後、4、5月と大きく減少。6月は増加に転じたが、未だ前年を下回る水準。1～6月の合計では前年比92.5%。

【輸出量】

- 原木、製材ともに前年を上回る水準で推移。

2 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2020年1月~)

• 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~16,000円/㎡となっている。



(単位：円/㎡)

都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,100	13,400	98%
秋田県	15,350	12,690	121%
栃木県	14,680	15,520	95%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	12,000	10,500	114%
高知県	15,000	13,000	115%
熊本県	16,000	16,300	98%
宮崎県	14,800	15,200	97%

※北海道については6月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については7月の値を使用。

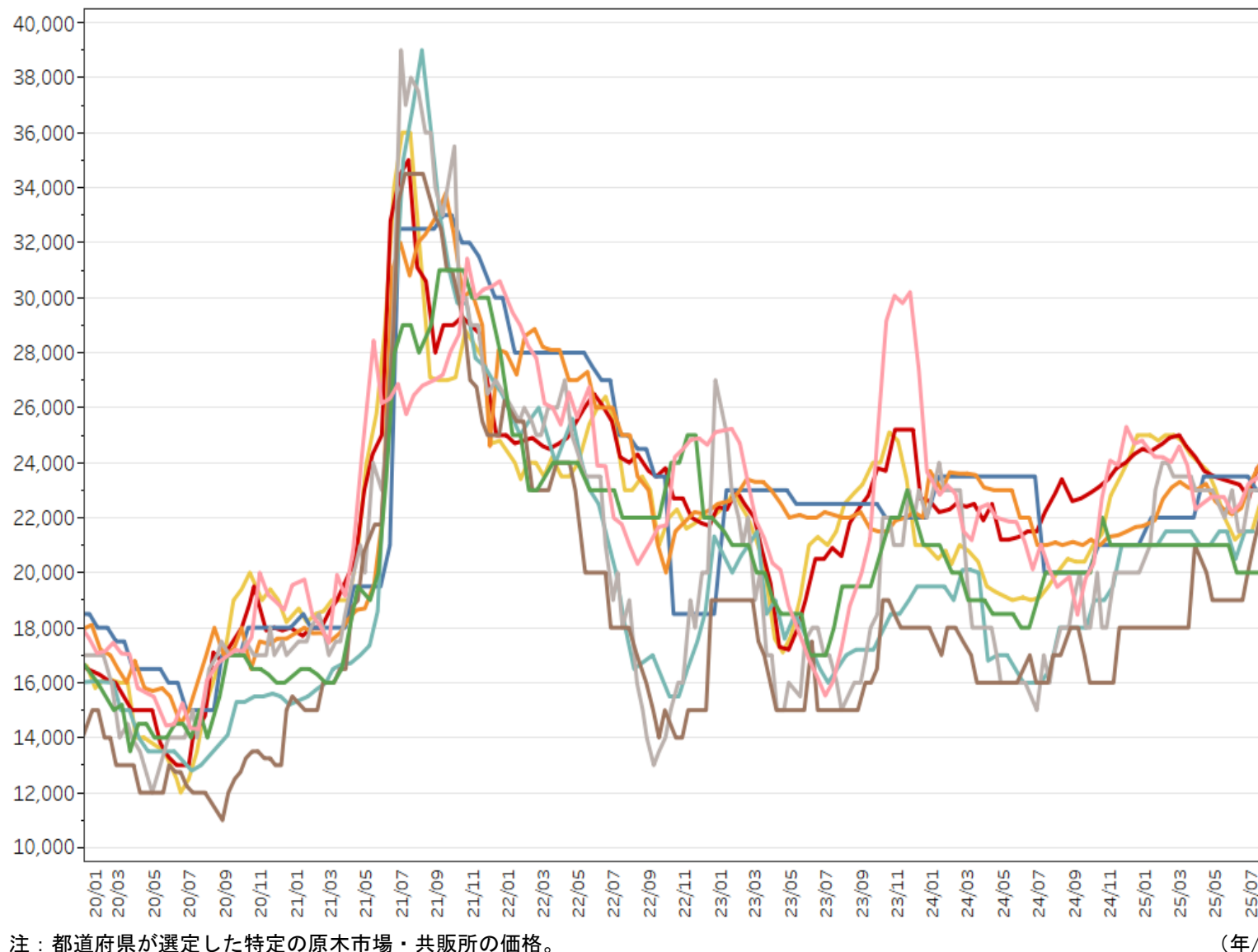
注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2020年1月～）

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、20,000円～23,900円/㎡となっている。

(円/㎡)



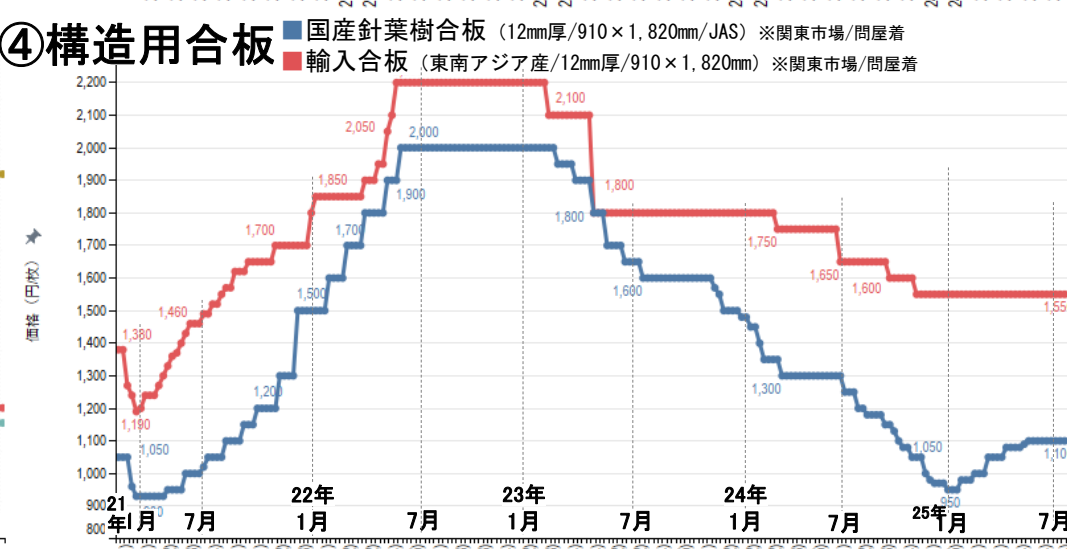
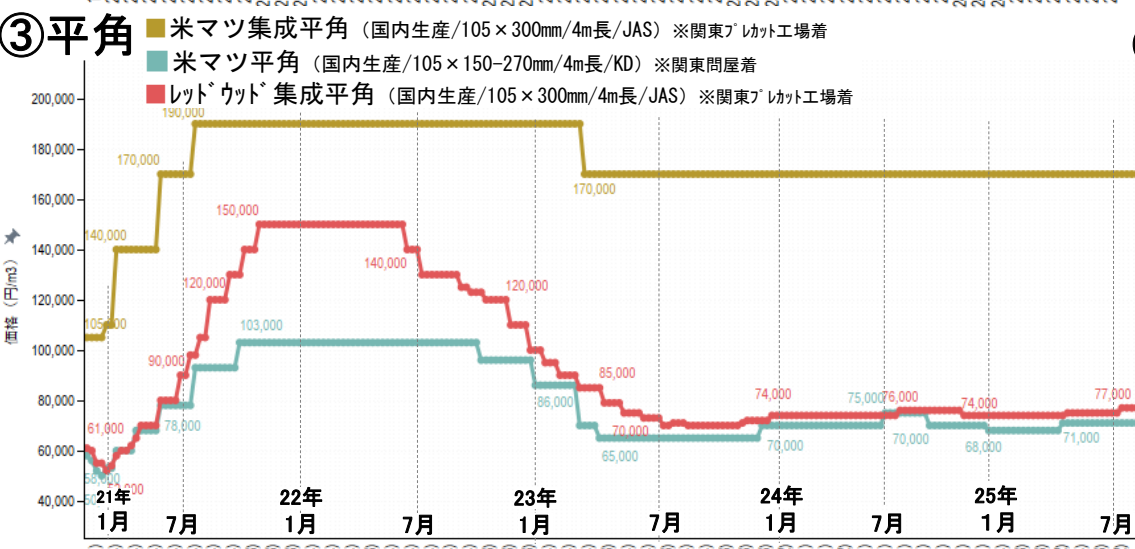
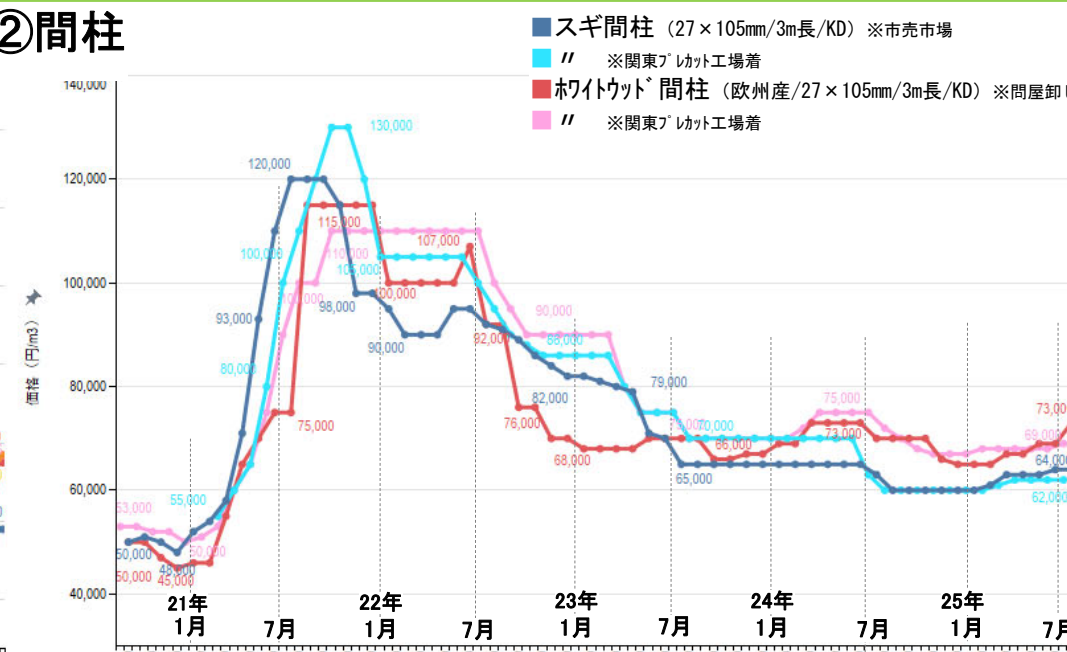
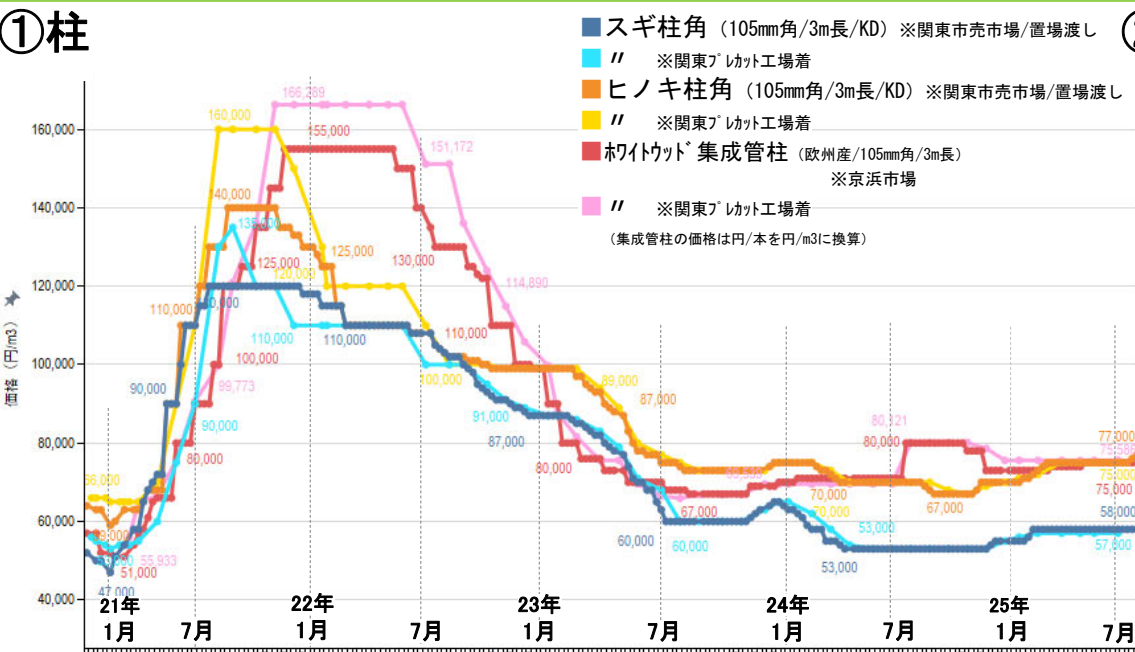
(単位：円/㎡)

都道府県	2025年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	23,380	20,150	116%
静岡県	20,000	20,000	100%
兵庫県	22,000	17,000	129%
岡山県	23,000	17,000	135%
広島県	21,500	16,000	134%
愛媛県	23,900	21,100	113%
高知県	23,000	20,000	115%
熊本県	23,900	22,900	104%
大分県	22,500	19,500	115%

※各県7月の値を使用。

(2) 製品価格

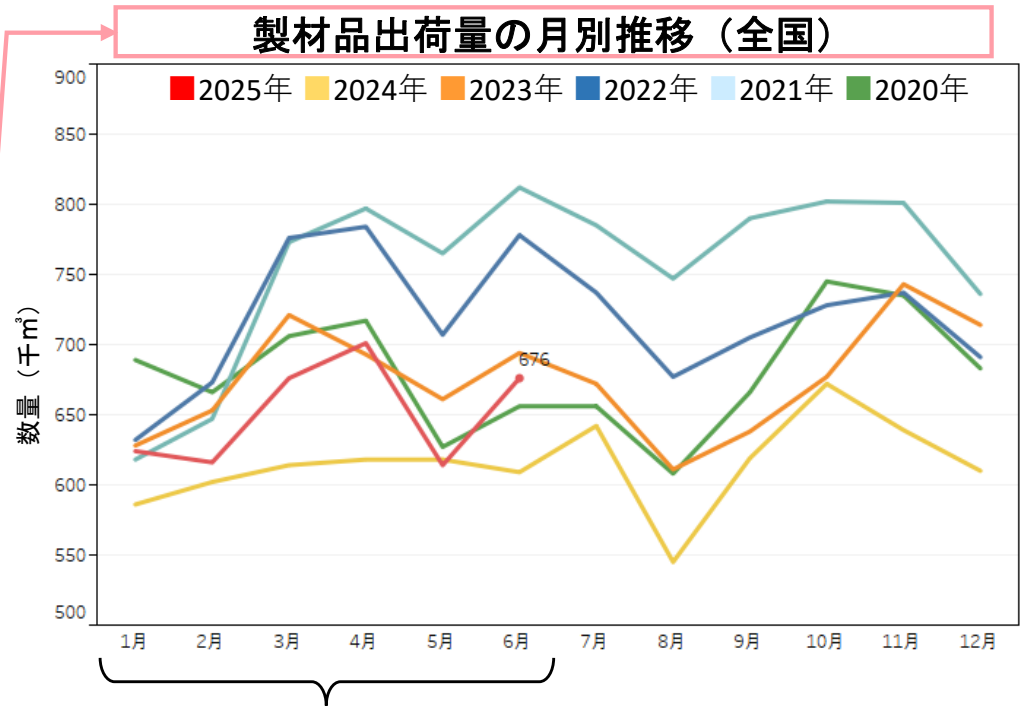
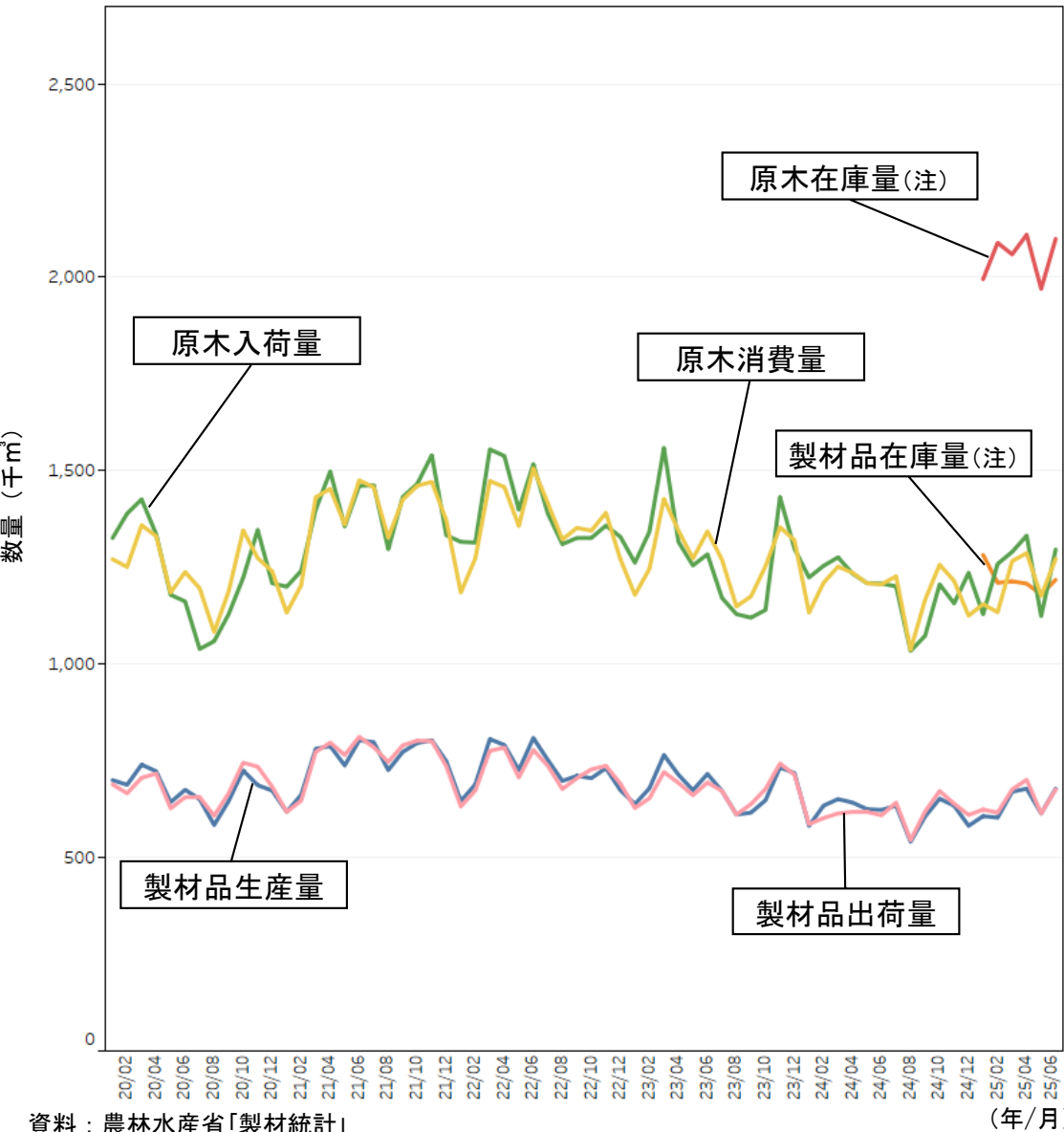
令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。
令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、国産材の柱の価格は令和6(2024)年4月に入り横ばいで推移していたが12月から上昇し、その後横ばい。構造用合板の価格は、令和7(2025)年1月まで下落を続けた後、上昇傾向。



3 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2025年 1～6月の原木の入荷量は7,430千m³（前年比100%）。
- 同様に製材品の出荷量は3,907千m³（前年比107%）。

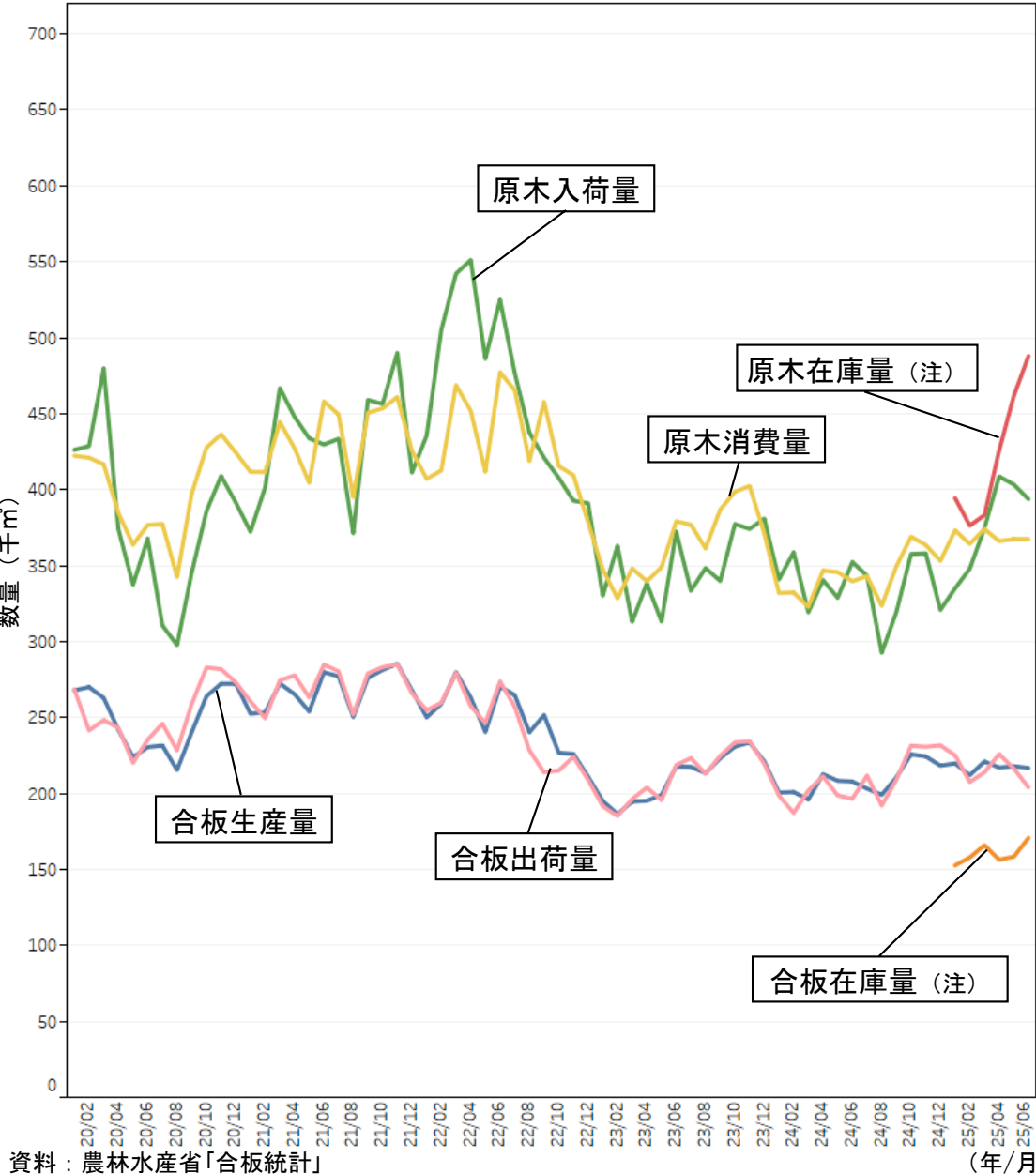


	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～6月原木入荷量合計(千m3)	7,818	8,155	8,639	8,018	7,405	7,430
前年との比較	—	104%	106%	93%	92%	100%
1～6月製材品出荷量合計(千m3)	4,061	4,412	4,350	4,050	3,647	3,907
前年との比較	—	109%	99%	93%	90%	107%

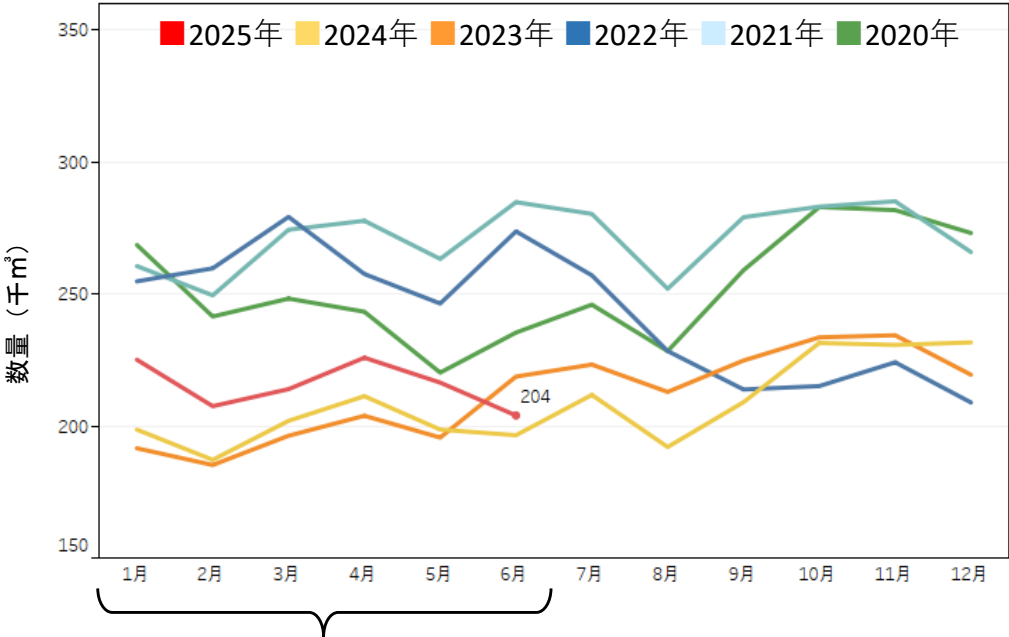
資料：農林水産省「製材統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

(2) 合板（全国）

- 2025年 1 ～ 6 月の原木の入荷量は2,263千m³（前年比111%）。
- 同様に合板の出荷量は1,293千m³（前年比108%）。



合板出荷量の月別推移（全国）

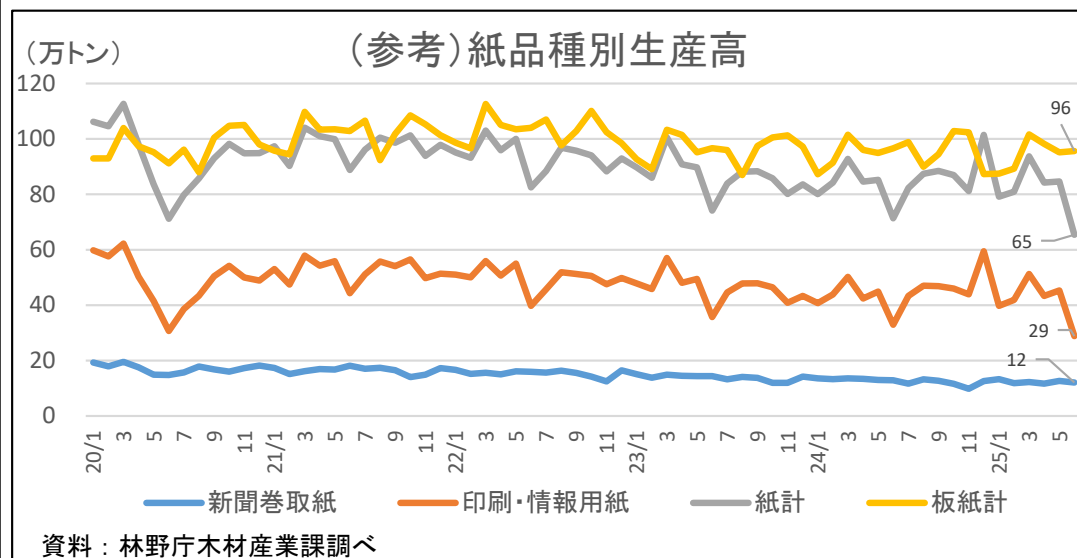
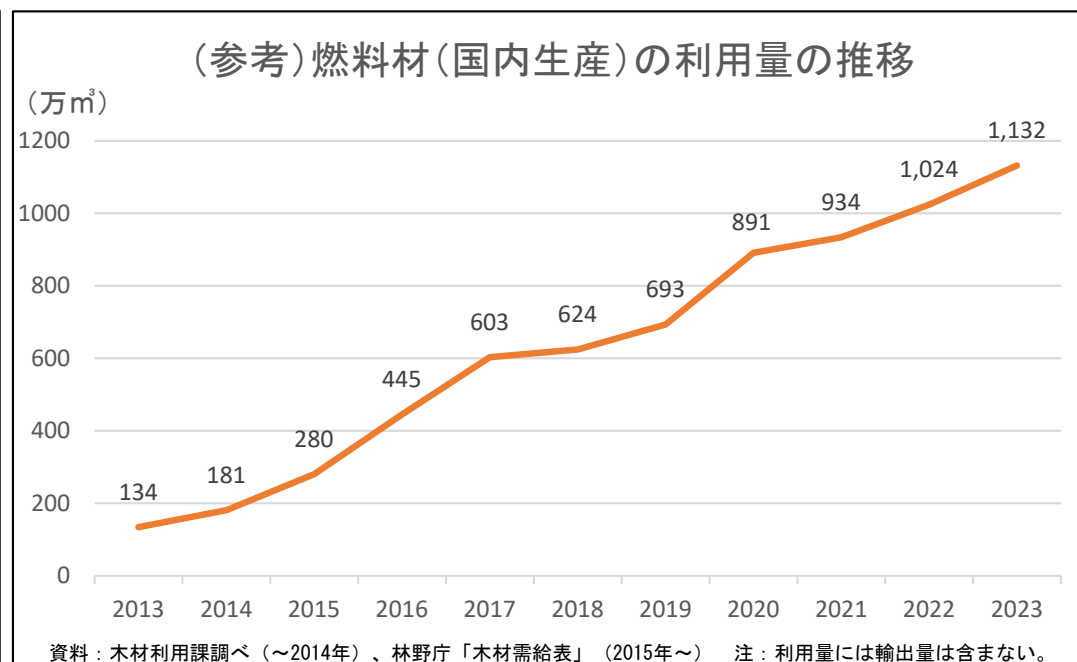
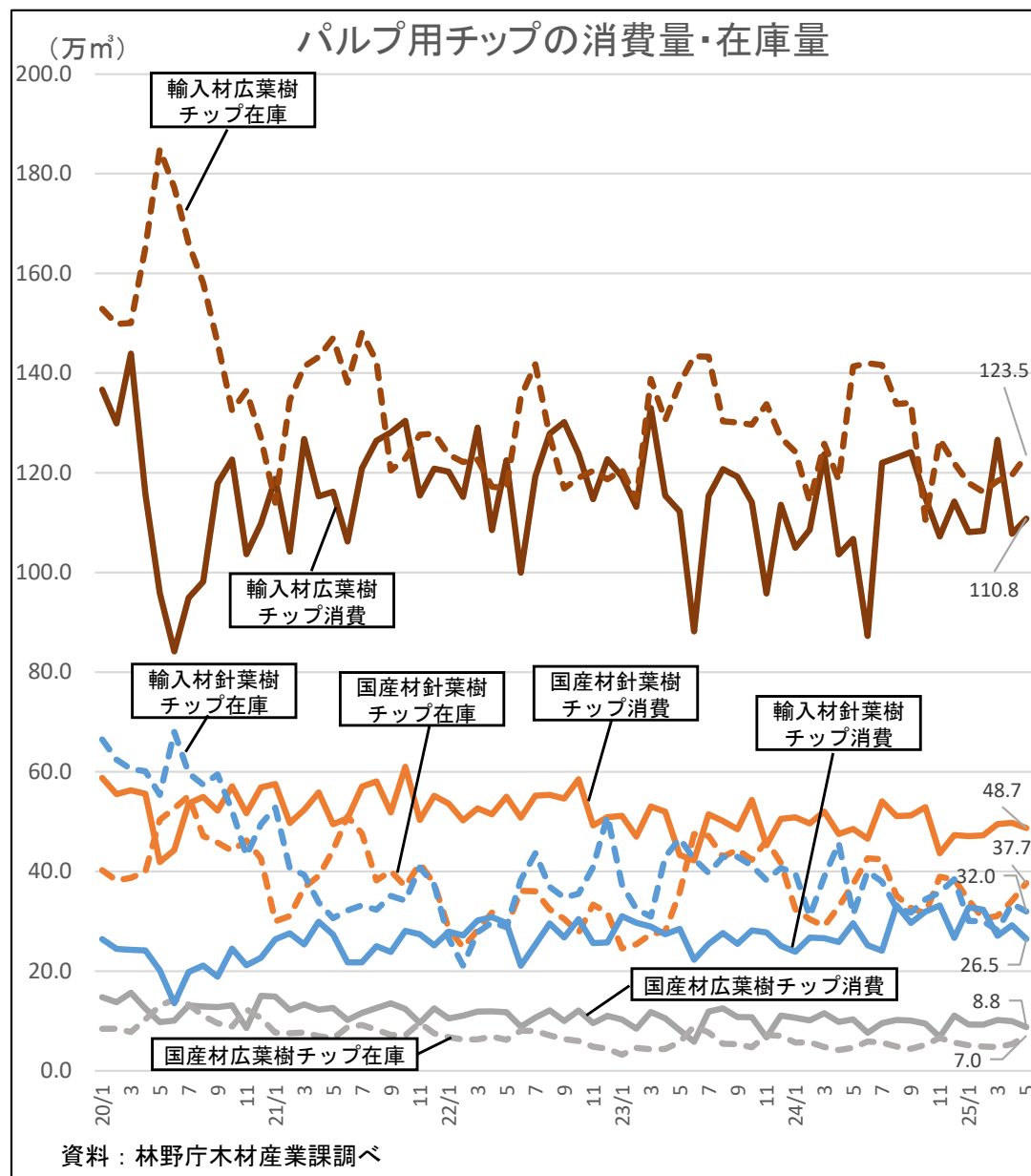


	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～6月原木入荷量合計(千m3)	2,414	2,552	3,045	2,030	2,040	2,263
前年との比較	—	106%	119%	67%	100%	111%
1～6月製材品出荷量合計(千m3)	1,457	1,610	1,571	1,191	1,194	1,293
前年との比較	—	111%	98%	76%	100%	108%

資料：農林水産省「合板統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

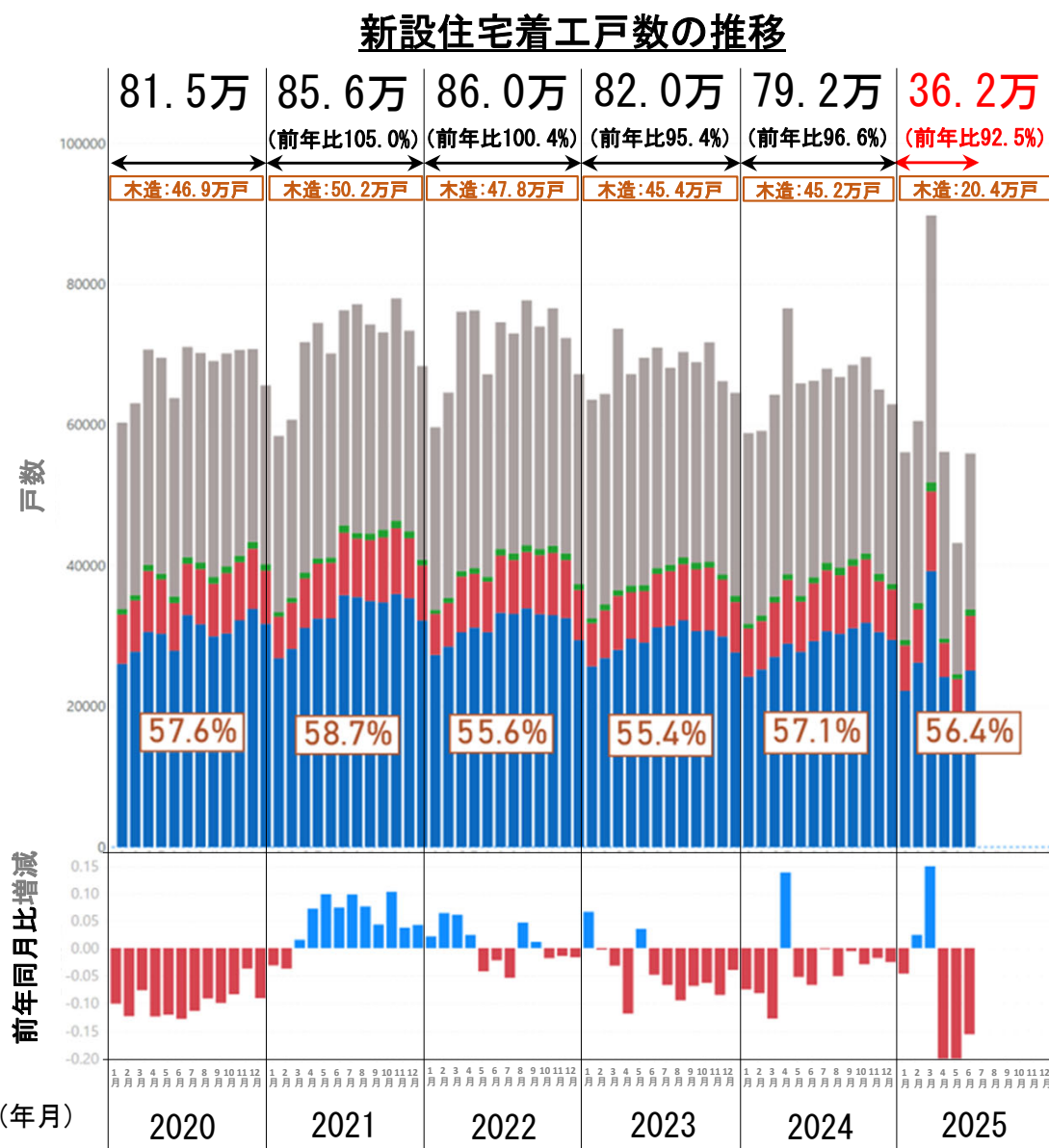
(3) チップ（全国）

- パルプ用チップの消費について、2025年5月の輸入材広葉樹チップの消費量は110.8万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は48.7万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約8倍）。

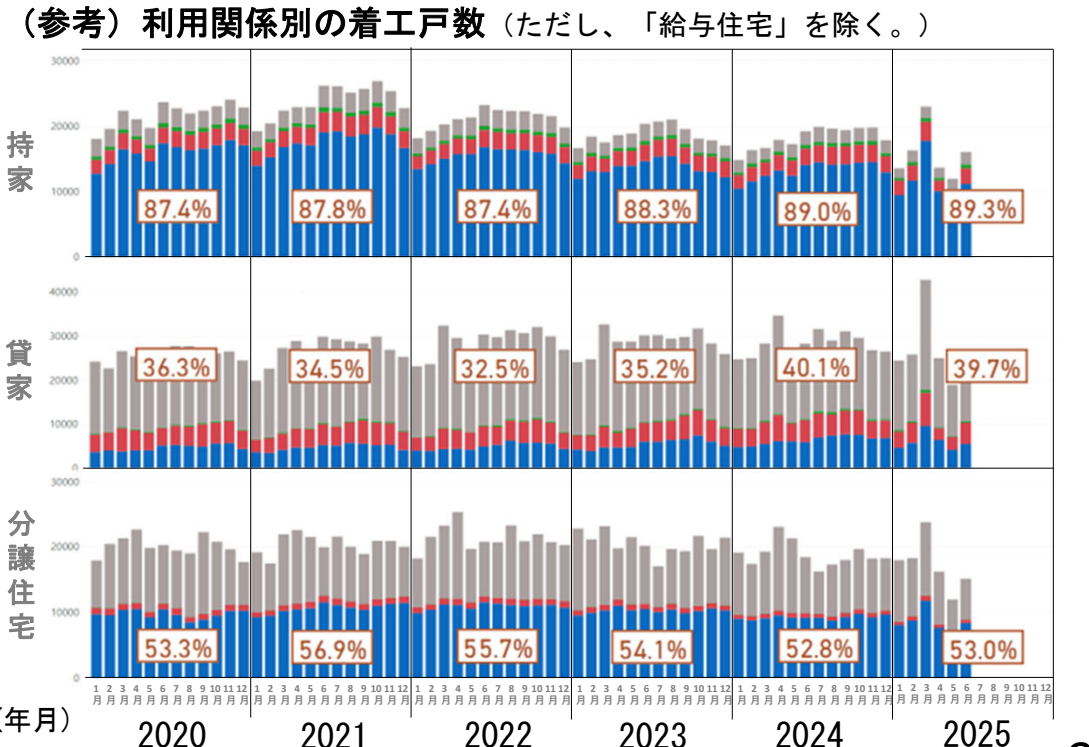


4 住宅着工戸数の動向（2020年1月～2025年6月）

- 2024年の新設住宅着工戸数は79.2万戸（前年比▲3.3%）、このうち木造住宅は45.2万戸（同▲0.5%）となり、2023年の水準を下回ったものの、非木造の34.0万戸（同▲6.9%）に対して木造住宅の減少率は低く留まっており、2024年の新設住宅における木造率は57.1%（前年比+1.7ポイント）となった。
- 2025年1～6月の新設住宅着工戸数は36.2万戸（前年同期比92.5%）、このうち木造住宅は20.4万戸（同95.7%）。



構造別の着工戸数	2025年 1～6月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	361,900	391,118	92.5%	409,549	88.4%
■ 非木造	157,900	177,971	88.7%	191,911	82.3%
木造	204,000	213,147	95.7%	217,638	93.7%
■ 木造プレハブ	5,236	4,811	108.8%	5,026	104.2%
■ 2×4	43,180	45,871	94.1%	42,103	102.6%
■ 在来軸組	155,584	162,465	95.8%	170,509	91.2%
□ 木造率	56.4%	54.5%		53.1%	

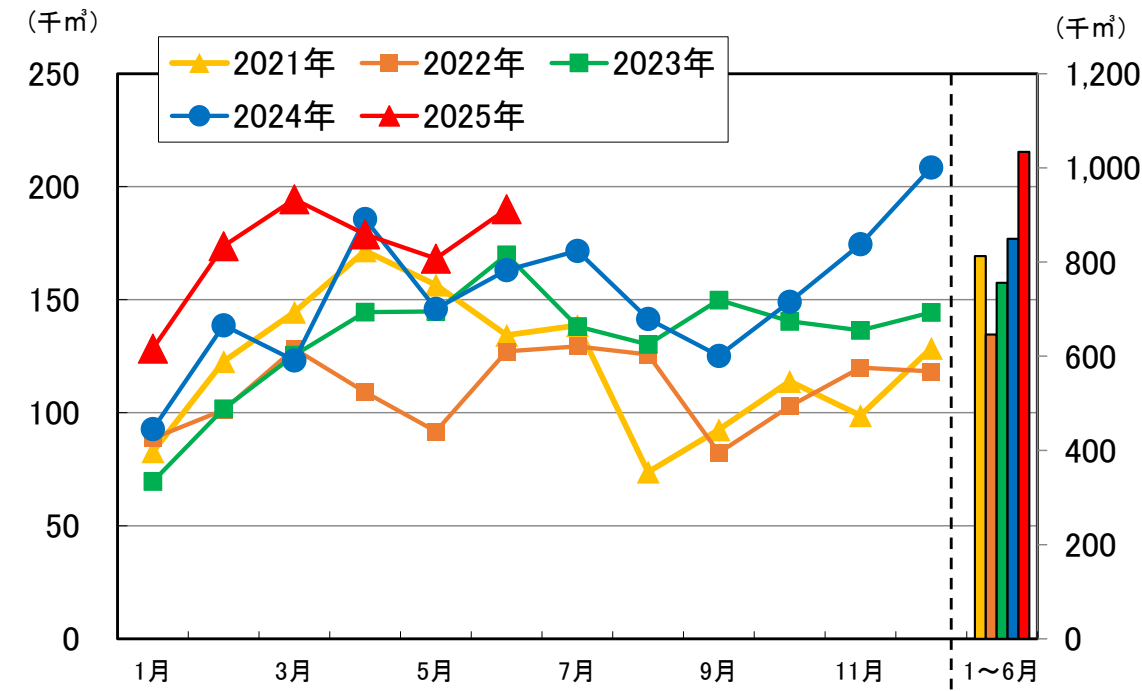


資料：国土交通省「住宅着工統計」

5 木材輸出量

・ 2025年 1 ～ 6 月の木材輸出量は、丸太1,034千㎡（前年同期比122%）、製材98千㎡（前年同期比137%）、合板76千㎡（前年同期比159%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



○木材輸出量の状況（主な国・地域別、品目別）

輸出先	6月 単月			1～6月累計		
	主要品目内訳(千㎡) 前年同月比(%)			主要品目内訳(千㎡) 前年同期比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	177 120%	7 89%	1 138%	943 125%	35 116%	3 166%
韓国	9 102%	1 147%	0 475%	59 107%	5 121%	0 221%
台湾	4 56%	2 120%	0 —	30 79%	12 142%	0 350%
米国	0 —	6 155%	0 —	0 —	29 144%	0 —
フィリピン	0 —	4 296%	15 199%	0 —	15 225%	73 159%
その他	0 61%	1 201%	0 1050%	2 93%	3 111%	0 41%
総計	190 117%	21 132%	15 196%	1,034 122%	98 137%	76 159%

○税関ごとの丸太輸出量（2025年 1 ～ 6 月）

税関名	管轄※	合計(千㎡)	割合
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	149.3	14.4%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	36.6	3.5%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	15.8	1.5%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	16.5	1.6%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	24.3	2.4%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	11.6	1.1%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	261.9	25.3%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	517.9	50.1%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%
計		1,033.8	100%

資料：財務省易統計
注 1：丸太は、貿易統計の第44.03項、製材は第44.07項、合板は第4412.31号から第4412.39号までを集計
注 2：四捨五入により、数値が合わないことがある